

背中の重いランドセルが
ゴトゴトしている

長期優良住宅

延べ床面積 27.33 坪

あの角を曲がると
いつもおじいちゃんとおばあちゃんが
庭で何かしてるんだ

「ただいま」と僕が言うと
おばあちゃんは「おかえり」といって
おじいちゃんが僕の方に歩いてくる

おじいちゃんとおばあちゃんのうちは
僕の家のごとくなり
だから僕はなんだかちょっと安心する

「ただいま」の先に 笑顔が見えるやさしい家

新型コロナウイルス感染症対策のため、各時間ご案内組数を制限させていただいております。

ご予約制 完成見学会

10 / 3 ~ 10 / 18 日

①9:00 ②10:30 ③13:00 ④14:30 ⑤16:00

場所 上越市青野地内

※詳しい地図はご予約後にご案内させていただきます。



見学会へお越しいただく皆さまへ

- 見学をご希望の方は前日までにご予約ください。
- 来場時はマスクのご持参とご着用をお願いいたします。
- ご予約当日体調のすぐれない方、風邪症状のある方はご無理をせず別日で再予約をお願いいたします。
- お客様の大切なお住まいをお借りしての見学会ですのでマナーを守ってご覧ください。

ご予約・お問合せ (8時~18時)

0120 0120-60-9016

担当：片・服部・金田・渡辺・伊藤

家族がお互いに助け合えると心強い。
それが分かっているから、親世代と子世代が近くに住む
「近居」を望む方が増えています。
家事や育児に協力できること、
病気の時や年老いた時に助けてあげられること。
そしてそれぞれの暮らし方を守っていくこと。
そんな安心と心地よさを、
無垢の木の風合いが包み込むコンパクトな家。
おらかな気持ちで暮らしてほしいから。

1
冬でもスリッパいらずの
無垢の床。赤ちゃんにも
安心の自然塗料を使用。



2
木の手づくり収納。
新しい家具特有のツンと
するにおいもありません。



3
自然の木の形が生かされ
たTV台。手づくりならではの
あたたかみもあります。



創業大正8年
家を造りつづけた100年
片建設株式会社
木のぬくもり体感研究会





建主の丁様にお聞きしました



Q1. 新築のきっかけは？

A. この春から両親と暮らしていますが、ある時父から「家を建てたらどうか」と話がありました。母屋はリフォームできる状態じゃないかと思っていたので、リフォームは考えませんでしたね。だから母屋の一部を壊して、空いたスペースに私たちの家を新築する、ということになりました。



▲ご実家のすぐ隣に新築。

Q2. どんな家を希望されましたか？

A. 家族が行き来することを考えて、なるべく母屋の近くに新築することにしました。直家を建てると思ったことがなかったのですが、「この土地でどんな家が建てられるのか、描いてきてください」と相羽さんにお願ひしたんです。ただ寒いのが苦手なので、「冬あたたかい家をしてほしい」とお願ひしました。真壁づくりはご提案をいただいて、気に入りましたね。掘りごたつは最初から希望していました。

Q3. 片建設を選んだ理由は？

A. 去年、父が片建設の見学会に行ったんです。そこで気に入って、勝手に決めてきたんです（笑）。普通なら何社も見積もりをとって比較すると思うんですけどね。でも片建設がいろいろな物件を手がけているのは知っていたし、まわりに聞いても評判がよかったので「それなら」と思い、決めました。

Q4. 新しい家で気に入っているところは？

A. 相羽さんから提案してもらったリビングのクロスや仕様がとても良くなりました。リビングの南側の掃き出し窓は大きくて明るいので、父が手入れをしている庭や、母が好きで育てている花も眺められるし、よかったですね。



▲掘りごたつのあるリビング。木のぬくもりの感じられる真壁づくり。

Q5. もうすぐ完成ですが、今のお気持ちは？

A. 新しい家はとても楽しみです。母屋がすぐそこなので、子どもが学校から帰ってくる、両親が出迎えてくれて助かります。父も母も70代なので、先々のことを考えて母屋の近くに建てることにしてよかったです。今後、必要な時がくれば、母屋とつなげて行き来するようにしようと考えています。お互いに助け合える距離って安心ですね。

つくり手の想い

「15歳から家づくり一筋54年。」
代表取締役 **丸山隆文**



今年の夏は大潟区で最高気温39.5度を記録しました。温暖化が進み、年々夏の暑さが厳しくなっていますが、冬は寒気により過去には-7℃近くまで冷え込む日もありました。夏と冬の気温差が激しいこの上越妙高地域で、家族が快適に暮らせる家とはどんな家か？それを私たちは常に考えて家づくりをしています。この地域に合った家づくりのヒントをぜひ探しに来て下さい。



現場監督
相羽

今回のお宅では、ご主人から「寒いのが苦手なので暖かい家を」というご要望がありましたので、断熱性能や仕上げ素材などで暖かく暮らせるご提案をさせていただきました。また母屋の隣に新築されるので、間取りや行き来のやすさ等「親世代、子世代それぞれが暮らしやすい家」となっています。

16歳から大工を始めて大工歴約50年になりました。この50年間で家づくりは大きく変化しましたが、「家は大工の腕次第」ということは変わっていません。腕次第、とは家を建てる技術に限ったことではなく、建てた後も「大切な家を預かる責任と心遣い」が含まれると思います。片建設の大工は1棟1棟責任と愛情をもって丁寧に仕上げています。



棟梁 鴨井

片建設の家づくり

片建設の家づくりは、お客様の声を「聞く」ことから始まります。ありのままを話してください。今どんな生活をしているのか、これからどんな暮らしを望んでいるのか。今の家で困っていることは何か、これから先10年、20年…、家族がどのように変わっていくのか。長年の経験と知識で、新しい家に合わせた生活ではなく、「生活に合わせた家づくり」のアドバイスをしていきます。どんなところに家を建てたいですか？日当たり、風向き、季節の移ろい、周囲の環境はどうでしょう。実際にその土地に立って感じとり、自然の風と日当たりを活かした体に優しい住まいを考えていきます。見た目が良くても使い勝手が悪い家では困ります。家は見るものでも見せるものでもなく、これから長く生活を紡いでいくところです。何年経っても、帰ってきて「ほっ」とする、居心地のいい場所であってほしいと思います。機械でつくれば早く安く、確かに効率はいいのですが、人の手でつくった家は、長持ちするだけでなく、時間が経つほどに深みとあたたかみを増していきます。そんな家づくりを私たちは1棟1棟続けていきます。家づくりは「夢づくり」。それを叶えるために、私たちは力を合わせて取り組んでいます。



片建設は大工の技術を生かした木のぬくもりを感じる家の設計及び新築、リフォームの施工を行う注文住宅専門会社です。現在大工9名、上越地域で自社大工人数No.1の大工集団です。人から人へ受け継がれてきた職人の技術を生かした手仕事の家づくりをしています。



お住まいに関するご相談・お問合せはこちらまで
0120-60-9016
片建設 検索
〒943-0858 上越市岡原408番地

創業大正8年
家づくり100年
片建設株式会社
木のぬくもり体感研究会